

『みさきまぐろを食べに飛ぼう』報告



コロナも少し収まり、好天に恵まれた3月25日、久しぶりの神奈川県イベントが開催されました。目的地は三浦半島・三崎港。27名の老々男女が意気揚々と出かけました。4ヶ月振りの集いとあって皆、子供のようにはしゃいでいました。京浜急行の名物企画『みさきまぐろきっぷ』は、京急の「各駅からの電車・バス往復乗車券」+「まぐろまんぷく券」+「みさきおもいで券」の3点がセットになった割引価格の気の利いた企画です。



ウクライナ 義援金



バスが三崎港に着くと30数店の中から選ぶ思い思いの「まぐろ屋」に、2~6名ぐらいのグループに分かれて飛び込みました。料理は「寿司・丼物・御膳」と、各店が自慢の腕を競っていますが当たり外れは時の運、何度か通わないと好みの店には当たらないでしょう。腹ごしらえが終わると次に我々を待っていたのは水中観光船の「にじいろさかな号」。





白秋歌碑を見ながら城ヶ島大橋の下を潜り抜け、乗船客が投げる「かっぱえびせん」を求めて群がるトンビと、雄大な景色を眺めながら船が魚群のいる場所に着くと静かに停船。そして我々を船底に誘導するアナウンスが鳴り響きました。「海中散歩」の始まりです。ガラス窓越しに海中に向かって皆思い思いに着席すると、ガラスの外は見事な魚群の集団。クサフグや小さなスズメダイなどが、水族館とは違った自然の姿で観察出来る醍醐味は格別でした。しばし海中の世界に浸った後に上陸すると、最後はバスで城ヶ島大橋を渡り、眺望の素晴らしい城ヶ島公園迄一走り。

しかしバスを降りてから公園までがかなり距離のある上り坂で、高齢の皆さんには最後の力を振り絞った行程でした。この公園で雄大な景色を見ながら解散となりました。皆さんからは多少疲れた表情も伺われましたが、久しぶりの神奈川会イベントに参加した満足感が満ちあふれているように感じられました。



| | |
|----|-----------|
| 文章 | 猪狩光也 |
| 写真 | 猪狩光也 富山友次 |
| 編集 | 富山友次 |

